

●三位一体後第八主日

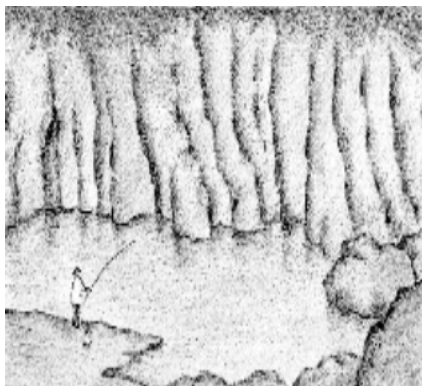
泉のほとり

今月の詩編「第三六編」

悪事を働く者は必ず倒れる。

彼らは打ち倒され

再び立ち上がることはない。



惑わすものの狙い

「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である」と始められた十戒。民は主が造られた秩序の中、奴隷の家ではなく、主の家のものとして生きるようにとされ、そのために「十戒」が与えられました。十戒に生きれば生きるほど、この世から聖別された民とされたことが、なんと大きな恵みであるかを知ることになります。しかし、十戒が与えられた後の歴史は、神の教えに従って生きたことがないと言えるほど不従順な歴史でした。その原因が人の内側にあることをこれまで触れてきましたが、神の教えに従って生きることを妨げる外的原因、人を惑わす悪魔の働きもあります。この惑わす存在を知ること、自分自身何を用心しなければならないのかを知ることができます。

聖霊に満ちた主イエスは荒野で霊に導かれ、四十日間何も食わずに悪魔から誘惑を受けられました。第一に、悪魔は空腹の主に「神の子なら、この石にパンになるように言いなさい」と唆しました。主は「人はパンだけで生きるものではない」と申命記のことばで退けられたのです。

イスラエルの荒野の四十年間は、人を生かしているのはパンではなく神の言葉であることを知らせるためのものでした。人は食べる物や着る物を保証してくれる「富」や目に見える環境に心が揺さぶられます。悪魔は、私たちの信仰が目に見えない神により頼んでいるか、世のものを頼りにしているかを試すのです。それで、人を不信仰へと陥れるのです。主は、空腹を我慢する無理な断食ではなく、食べることも忘れるほどの天の父との交わり、神への「一心」をもつて悪魔の言葉を退けられたのです。

次に悪魔は、世界のすべての国々の権力と繁栄を見せ、「私を拝むなら、みんなあなたのものになる」と言いました。人は十字架を避け、人に褒められ、成功し、仕えられる者になりたいと世の栄光を求めます。悪魔は、この信仰が十字架

を栄光とするのか、世の栄光や人からの誉れを追い求めているのかを試すのです。そして、唆すのです。御子は「あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ」と答えられました。圧倒的な力を見せ華やかさを約束する悪魔の声は、キリストには全く通じませんでした。「主にのみ仕える」ゆえに世の栄光ではなく十字架を背負われたことこそが、人に命を与え、悪魔を打ち破るキリストの勝利だったのです。

更に悪魔は主を神殿の屋根に立たせ、詩篇のことばを引いて「神の子なら飛び降りなさい。天使が支えたと書いてある」と誘惑しました。悪魔は「神の子」という事実を否定せず、人を惑わすために「聖書の言葉を使う」、つまり「信仰」を装うという事実を心得ておかねばなりません。人は神のことばでさえ自分の目に暮わしいように、自分を中心に見ようとし、悪魔は、信仰が自分を中心としたものか、神のことばを混じり気のないまま受けているかを試すのです。そのように、御言葉さえ用いて、巧妙な手口で人を不信仰へと惑わすのです。使徒パウロが「サタンでさえ光の天使を装う」と警告したように、似ているだけで真理ではないものが多い世の中です。主は「神を試してはならない」と退けられました。愛する父のことばを自分勝手に利用することは、ご自分の尊厳を冒す以上の冒瀆を感じられたのだと思います。

この世に生きる限り信仰が試されることは絶えずあり、光の天使を装う悪魔の手口は狡猾く働きます。しかし、すべては神のご支配のもとにあり、神のお許しがあれば髪の毛一本にも触れることはできません。私たちは自惚れず弱さをわきまえ、「誘惑に陥らず、悪からお救いください」と祈っていきたいのです。しかし、不信仰があらわにされた時には、自らを改め、主に立ち返り、神のことばによって生きる知恵を得る時とすべしです。

どうか、神が私たちを精錬し、純金のようにされますように。私たちもあらゆる試練、悪魔の誘惑に打ち勝つキリストにある信仰を、私たちに賜ってくださいますよう心から願います。

《私たちのビジョン》

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《2026年度

教会全体課題》

神さまによって

示された新しい歩みの中で、

キリストの体としての一致を

祈り求める

コミュニケーション、交わり、

伝道、学びなどを通して

《今日のお知らせ》

○二七日(月)、二八日(火)バイブルスクールを行います。ポスターをロビーと事務所に張っています。時間と内容をご確認の上、どうぞご参加ください。

《教育奉仕委員会より》

礼拝後、地下ホールにてホール集会を行います。教会のグループ活動をご紹介しますので、ぜひお集まりください。

《ぶどうの会より》

ぶどうの会はお休みです。

《祈りの会より》

ホール集会終了後一三時一五分頃開始予定で第二、三シオンルームで祈りの会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

《エレベーター工事について》

九月末に予定しておりましたエレベーター制御システムおよび関連部品の更新工事を、左記の日程に前倒しして実施いたします。

現在は仮復旧しておりますが、より安全にご利用いただくため、部材・人員が確保できる最短日程で工事を行います。

期間：二〇二六年八月二四日(月)～三十一日(月)

期間中はエレベーターをご利用いただけません。工程予定表はロビー掲示板に掲載しています。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇三十六篇】 指揮者によつて。主の僕の詩。

ダビデの詩。

神に逆らう者に罪が語りかけるのが
わたしの心の奥に聞こえる。

彼の前に、神への恐れはない。

自分の目に自分を偽っているから

自分の悪を認めることも

それを憎むこともできない。

彼の口が語ることは悪事、欺き。

決して目覚めようともしない、善を行おうともしない。

床の上でも悪事を謀り

常にその身を不正な道に置き

悪を退けようとしない。

主よ、あなたの慈しみは天に

あなたの真実は大空に満ちている。

恵みの御業は神の山々のよう

あなたの裁きは大いなる深淵。

主よ、あなたは人をも獣をも救われる。

神よ、慈しみはいかに貴いことか。

あなたの翼の陰に人の子らは身を寄せ

あなたの家に滴る恵みに潤い

あなたの甘美な流れに渴きを癒す。

命の泉はあなたにあり

あなたの光に、わたしたちは光を見る。

あなたを知る人の上に

慈しみが常にありますように。

心のまつすぐな人の上に

恵みの御業が常にありますように。

神に逆らう者の手が

わたしを追い立てることを許さず

驕る者の足が

わたしに迫ることを許さないでください。

〔司・会〕

悪事を働く者は必ず倒れる。

彼らは打ち倒され再び立ち上がることはない。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神のご支配を信じて生きる」

聖書 マルコ4章35〜41節

説教者 宮間 彰広 兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「眠っているだけだ」

聖書 マルコ5章35〜43節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

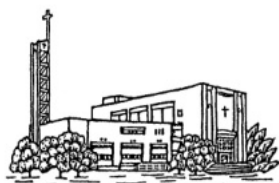
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 74番 275番

説教 「ためらわないで行きなさい」

聖書 使徒10章9〜23 a節

説教者 宮間 彰広 兄





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 495番 219番
説教 「狭い門から入りなさい」
聖書 マタイ7章13～29節(新約 P.12)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「我は心より主を愛す」J.G.アルター-&J.L.クルース

○讃美歌495番

1. イエスよ この身をゆかせたまえ
愛のしたたる 十字架さして ※

(※くりかえし)

我はほこらん ただ十字架を
天ついこいに 入るときまで

2. 十字架にすがる よわきわれは
今ぞ知りぬる ふかきめぐみ ※

3. 十字架のうえに よろこびあり
たえず御蔭に よらせたまえ

4. かがやく国に のぼる日まで
十字架のもとに 立ちてぞ待たん
アーメン

○讃美歌219番

1. おのが道うちすてて まさみちにきたらずや
世のひとよ もろともに 活ける主にたちかえれ

2. 数多のものおがめども もとむるはわが主なり
今こそはためらわで かえりこよ いける主に

3. 主のたまはへりくんだり 世のひとは目をさまし
いける主をほめまつる みくにをばきたらせよ
アーメン

聖餐曲「我が飼い主は愛の王」R.H.ハーン

後奏曲「アレグロ(ソナタ第1番より)」J.S.バッハ

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。